

会と連携してさらに魅力あふれる拠点づくりを努めてまいります。

駅周辺整備は、法手続き、測量設計及び用地取得により駅前広場の整備に着手し、「風なび」と共に「千年の苑ラベンダー園」をはじめ、町を訪れる皆さんのお客様を笑顔でお迎えできますよう準備を整えてまいります。

花見台工業団地拡張地区については、県企業局と連携しながら事業を進め、インターチェンジランプ内は企業立地が始まります。また、川島地区の道路



インターチェンジランプ内の工事の様子（3月12日撮影）

整備予定周辺地域への企業誘致に向けた調査も進めてまいります。

このほかに地域資源の掘り起こしや新たな産業の風を起こす「町おこしプロジェクト」の活動、市街地の活性化に資す事業を展開する「地域商業等活力創出推進委員会」、農業の担い手と

なる新規就農者を育成・指導する「風丸塾」等、まちの活性化と魅力度アップへの取り組みを積極的に支援してまいります。

② まちづくりの進展

グローバル化や情報化等、子どもたちを取り巻く環境が年々大きく変化していくなかで、心身ともに健やかに学ぶことのできる豊かな教育環境を創造することは私たちの責務です。

一人ひとりの能力が充分発揮でき、「風山町で学んで良かった」と思える充実した教育の場を整えてまいります。

町では、平成27年度より他の市町村に先駆けて中学校の普通教室及び特別教室でタブレットパソコン等を利用した情報教育を行っております。来年から順次、新学習指導要領が実施されることに伴いまして、平成31年度は子どもたちがICTの活用により学習への興味を高め、関心をより深めてもらえるように、小学校の普通教室及び特別教室へタブレットパソコン等を導入いたします。

また、現在2名体制で実施しています「英会話講師の派遣業務」を1名増、3名体制で実施して小中学校にお



英語専科教員とALTによる外国語活動

ける英語学習の拡充を図ります。

快適な学習空間の整備としましては、国の平成30年度第1次補正予算にて採択のありました熱中症対策事業により、小中学校特別教室への空調設備を設置して児童・生徒が安全かつ安心して学ぶことのできる場を整えてまいります。

平成29年度より、「町立小中学校適正規模等検討委員会」において、検討していただいております。これからの児童・生徒数を考慮した教育施設の適正規模等について過日答申をいただきました。委員の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

今後は本答申を基に「学校適正規模等基本方針」を定め、町の未来を担う子どもたちが生き生きと学ぶことのできるより良い環境を整えてまいります。

者手帳所持者に対しても、町単独での外出支援施策を講じるなどさらに福祉の充実を図ってまいります。

しかしながら、こうした町で直接実施する事業のみでは高齢者等を支えることは困難であります。いかにして地域全体での取り組みを進めていくのか、元気な高齢者の活躍をどう図っていくのか、こうした大きな課題に対して一歩、二歩と歩みを進めてまいります。

平成31年度は、県議会議員選挙、参議院議員通常選挙、県知事選挙、町議会議員選挙と選挙が続く年でございます。選挙は民主主義の根幹を成す重要な機会であり、適正な選挙事務が執行されるよう選挙管理委員会を支援してまいります。

県内多くの自治体の人口が減少している中、あつて風山町はここ数年、転入人口が転出を上回る「社会増」が続いております。これは企業誘致、区画整理事業、定住促進事業等の取り組みによる成果です。この流れはこの先も決して止めるわけにはまいりません。町の未来のために、今ここで大胆な事業展開こそが必要であると確信しております。

初夏の爽やかな風の中、大平山を背景に、大勢の人たちの活気で賑わう壮大なラベンダー園が目に入ります。新しい時代の幕開けに町民、地域、役場

③ 「子ども・子育て支援」

人口減少・少子高齢化は言ってもなく大きな社会問題であります。平成の30年間で全国の出生率は1・57から1・26となり、町では現在1・1を割り込む状況にまで落ち込んでいます。安全かつ安心して妊娠し、出産し、子どもが健康で育つことは全ての人の限らない願いであります。この願いに応えるべく町では多種多様な子ども・子育て支援を講じてまいりました。

さらにきめ細やかな支援を実現するために、子育て世代包括支援センター



子育て広場「レビ」ふれあい教室



「千年の苑ラベンダー園」
6月8日(土) オープン予定

「力」を結集してまいります元気なまちづくりを目指してまいります。

以上、平成31年度の町政運営に関する基本的な考え方と、平成31年度予算の概要を近未来の風山づくりに欠かせぬ柱に沿って申し上げます。

私は近未来を展望し、町民福祉の向上、この一点を心魂に据えて、町政運営に取り組む決意でございます。議員各位を始め町民の皆様には、引き続き特段のご理解とご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げ、平成31年度の施政方針とさせていただきます。

平成31年2月26日

風山町長 岩澤 勝

(紙面の都合で、一部割愛しております。全文は町ホームページをご覧ください。)

及び子ども家庭支援センター「b&gらんざん」を開設いたします。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない包括的な子育て支援を実施し、子どもたちの元気な声と笑顔あふれるまちづくりに努めてまいります。

また、10月からは幼児教育の無償化が実施されます。それに伴う喫緊の課題であります。保育の受け皿の確保と保育士宿舎借り上げ支援等の施策を講じて待機児童ゼロを目指してまいります。

④ 「安全安心」

風山町はこれまで比較的自然災害の少ない町でありましたが、全国的には異常気象や地震等が発生しているため、その対応に努め、今後も災害に強いまちづくりを進めてまいります。昨年引き続き、防災行政無線のデジタル化への更新事業を町内全域に実施してまいります。

地震対策では県の補助制度を活用してため池の耐震点検箇所を拡大し、新たにハザードマップを順次作成して災害非常時に備えてまいります。

町民の皆様が安全に、安心してご利用して頂けますよう国の補助制度を活



新たな防災行政無線

用して橋りょうは定期点検、改修工事、また将来にわたっての整備計画を策定し、傷みが見られる町道は舗装維持修繕計画に沿って改修工事を実施し、地域の安全性確保に努めます。そのほか快適に過ごせる環境を創出するために、禁煙等強化区域での周知、巡回事業、きれいな川をよみがえらせるために河川及び調整池の水質検査、また公共下水道への接続を推進する事業等を実施してまいります。

急速な高齢社会の進行により、65歳以上の高齢者が3人に1人となる時代がすぐそこまで来ております。これと共に一人暮らし高齢者も年々増え続け、このような方々をどう社会で支えていくかが喫緊の課題となっております。こうした中、町では高齢者の閉じこもり防止といつまでも健康で生活を続けていけるよう平成23年度から高齢者外出支援タクシー助成を実施してまいりますが、平成31年度からは事業対象年齢を65歳以上に引き上げ、より効果的な事業運営を図るとともに、軽度の障害